

第2次県立高等学校再編整備の中期実施計画（平成26年度～平成28年度）〔概要〕

1 第2次県立高等学校再編整備の中期実施計画（平成26年度～平成28年度）について

「第2次県立高等学校再編整備の基本計画（平成23年度～平成32年度）に基づき、平成26年度から平成28年度までを期間とする「第2次県立高等学校再編整備の中期実施計画」がまとまり、学科改編関係については平成25年1月、統合等学校再編関係については、平成25年5月の教育委員会において決定しました。

※ 八千代高校の総合学科の系列改編は、平成25年10月7日付けで追加

2 中期実施計画の内容

※高等学校名の後の（ ）は、地区を表す。丸数字は学級数を表す。

再編内容		第2次県立高等学校再編整備の基本的な考え方	平成26年度	平成27年度	平成28年度
新しいタイプの学校の設置	アクティブスクール	・全日制普通科高等学校に単位制を導入し、基礎学力の定着とキャリア教育に重点を置いた学校をアクティブスクールの愛称のもと設置する。		石下紫峰（県西）	
	工業に関する学科	・時代の進展や生徒・保護者のニーズに対応した魅力ある学科への改編を配置バランス等に配慮して進める。 ・今後の国の動向や地域・学校の実情等を勘案して、中期実施計画中に新たな改編を行うこともある。	つくば工科（県西） （電子機械科①、情報技術科②、建築デザイン科②→機械科①、ロボット工学科①、電気電子科②、建築技術科①）		玉造工業（県東） （システム工学科①→機械システム科①） *機械科②、電気科①、情報技術科①とくくり募集
	水産に関する学科		海洋（水戸） （海洋技術①、海洋工学①→海洋技術①、海洋産業①）		
学科改編	総合学科		八千代（県西） （人文科学系列、自然科学系列、自動車工業系列、流通経済系列、社会福祉系列→文理総合系列、基礎教養系列、自動車・電機系列、商業実務系列、福祉・家庭系列） ※学級数は5、系列には2年次から分かれる		
	学校再編 （※平成25年5月に決定）	・学校の適正規模は、1学年あたり4学級（160人）から8学級（320人）までとする。 ・適正規模の維持が見込まれない学校は、統合等の学校再編を検討する対象とする。 ・なお、学校再編の対象となっていない学校であっても、学校の状況によっては、中期実施計画期間中に対象とすることがある。	○ 中期実施計画期間においては、統合・募集停止・分校化は行わないこととする。 ただし、留保校については、第2次県立高等学校再編整備の基本計画における留保校に関する取扱いで示してあるとおり、今後、次の要件に合致すれば、統合等を行うものとする ア 欠員40名以上が2年連続の留保校の場合 ⇒翌年度に生徒募集停止。ただし、複数学科設置校は配置バランスを勘案 イ アの中で県北山間部過疎地域の留保校（3学級校）の場合 ⇒2学級の生徒募集もあり。その場合、欠員40名以上が2年連続の場合は翌年度に生徒募集停止又は分校化 ウ ア・イに該当しない留保校も、その後の実施計画で統合対象とする場合あり		

3 県立高等学校数

再編内容	年度	平成14年度	第1次再編整備完成時	第2次再編整備完成年度		
				前期実施計画完成時	中期実施計画完成時	
中高一貫教育校		—	2校	4校	4校	5校程度
全日制単位制高等学校		2校	18校	18校	17校	20校程度
アクティブスクール		—	—	1校	2校	2校程度
フレックススクール		1校	3校	4校	4校	5校程度
全日制高等学校		110校	96校	93校	93校	86校程度
全県立高等学校		111校	99校	97校	97校	91校程度

* 全日制単位制高等学校数には、中等教育学校、総合学科高等学校を含み、アクティブスクールは含まない。

* 高等学校数には、中等教育学校を含み、分校は含まない。